

授業科目名 (ナンバリングコード)	生涯スポーツ実践論 (131B3-1300)		授業形態	講義		授業科目区分		専門科目 (応用科目)		
担当教員名	工藤 保子・舟木 泰世・生島 淳・青島 健太					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		設定なし		
授業の概要	わが国の生涯スポーツ・プロモーション、障害者スポーツ、スポーツとメディア、スポーツとボランティアの各論について学習する。生涯スポーツ政策の現状と課題を、実践者の立場から理解を深めることを目標とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	専門的な知識・教養	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	各領域における生涯スポーツ政策の現状と課題について理解する		○	○				60
		■情意的領域	授業参加状況及び質疑応答への参加態度評価	○			○			40
□技能的領域										
成績評価の基準	特に積極的な受講態度とレポート提出状況を重視して、総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	適宜指示する。									
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		本授業科目は非常勤による集中講義として開講する。 担当教員プロフィール 舟木泰世：スポーツ庁健康・体力づくり係長を経て至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科助教授 工藤保子：大東文化大学准教授、元笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所 副主任研究員 生島 淳：スポーツジャーナリスト。スポーツの取材・執筆活動のほか翻訳や番組キャスターを務める。					
オフィス・アワー	授業の前後に対応する									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	舟木 泰世	これまでのスポーツ行政・政策の流れ				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
2	〃	生涯スポーツ政策について				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
3	〃	スポーツ庁設置・第2期スポーツ基本計画について				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
4	〃	テーマ：スポーツによる地域活性化策を考える（予定）				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
5	工藤 保子	生涯スポーツとスポーツボランティアの位置づけ・概要				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
6	〃	スポーツイベントとスポーツボランティア				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
7	〃	障害者スポーツとスポーツボランティア				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
8	〃	スポーツボランティアのマネジメントワーク				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
9	青島 健太	プロ選手とアマチュア選手				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
10	〃	プロ野球とホームタウン				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
11	〃	生涯スポーツ振興におけるトップアスリートの役割				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
12	〃	アスリートのセカンドキャリア				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
13	生島 淳	生涯スポーツと現代メディア（国内編）				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
14	〃	ディスカッション				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
15	〃	生涯スポーツと現代メディア（国外編）				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				
16	〃	ディスカッション				授業内で適宜指示のあった内容を復習する（30分）				